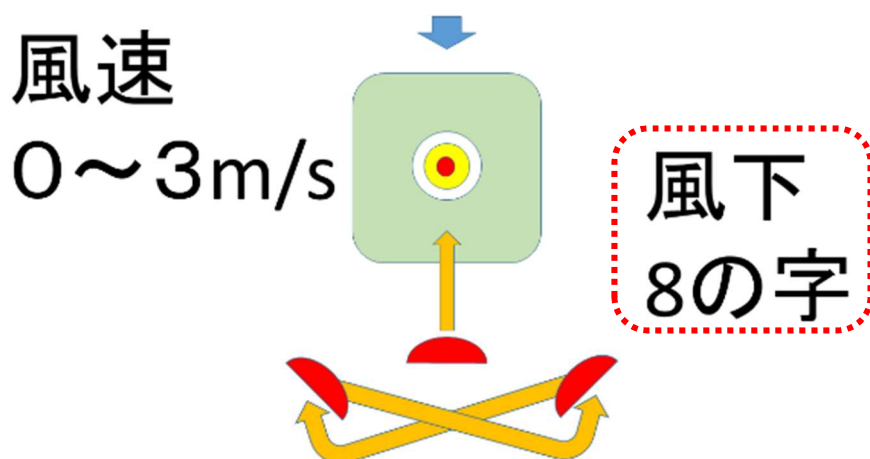


きどころイントラの 教本に載ってないワンポイント座学

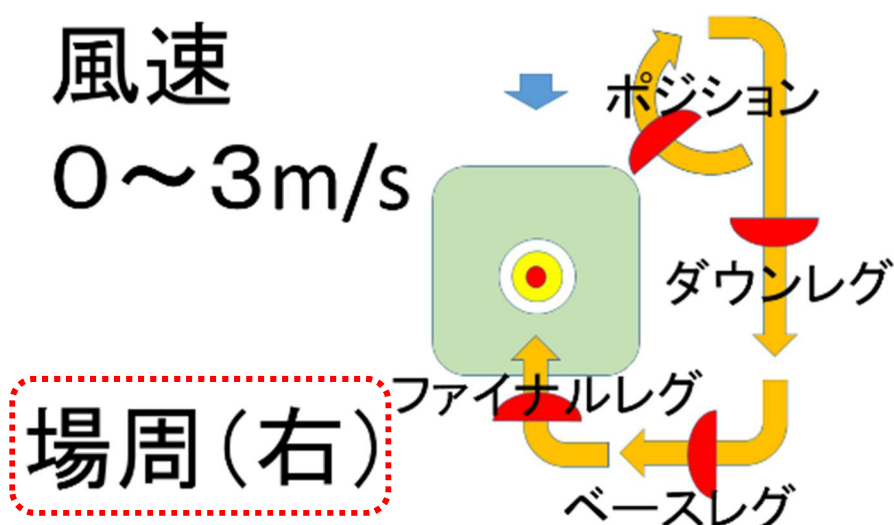
2024 年 9 月 29 日

第4回 強風時のランディングについて

パラグライダーのランディング(高度処理)は周りの状況や風の強さに合わせて、以下の様に変化します。良く理解しておきましょう。



基本のアプローチです。まずはこれを完璧にしてください。自己採点で100点満点を出せるようにしましょう。90点以下ではダメです。同時侵入に弱いという弱点があります。

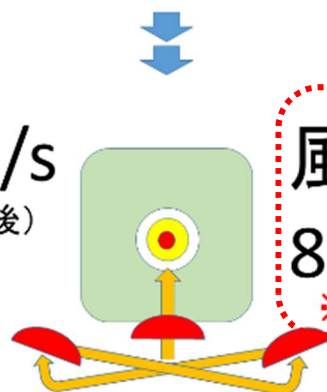


海外で多く利用されているアプローチです。同時侵入に強く、性能差がある機体同士でも融通が利く利点があります。P証になるには完ぺきにマスターする必要があります。1ヶ月使っていないと鈍るので、定期的に自己練習してください。

風速

3~5m/s

(対地10km/h前後)



風下直近

8の字

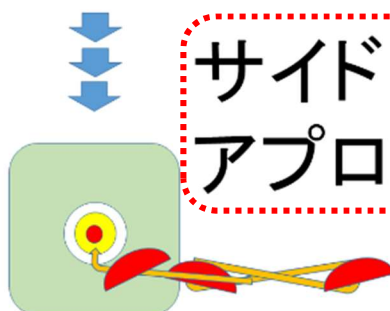
※フレアーは軽く

8の字でも、風が強くなるほど高度処理の位置がLDに近くなり、旋回も180度より狭くなっています。意識せずに普段と同じ感覚で操作するとショートします。覚えのある方はいませんか？

風速

5~7m/s

(対地5km/h前後)



サイド
アプローチ

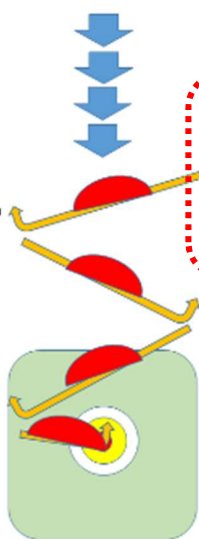
※フレアーは微少
着地後は即振り返っ
て機体を降ろす

強風(微速前進)時に有効です。着地後の体捌きが肝心。同時侵入が多い場合も非常に有効。必ず使えるようにしておきましょう。パイロットのたしなみの一つです。

風速

7m/s以上

(対地-5km/h以上)



風上バック
アプローチ

※フレアーはかけずに
着地した瞬間に即振り返り
& 風下へダッシュ
(出来なければ引きずり
回しの刑確定)

※斜め後ろを見ながらマイナスグライドパスで偏流角を調整(高いうちは手前に調整、直前で少し流す、最後は正対させる)

海外のXCフライトではほぼ必須の技術。できなければ西部劇のあのシーンを体験することになります。日本でもごく稀に起きるシチュエーションです。